



第41号

発行所 馬場会  
所 龍ヶ崎同窓会  
行 区 水沢高校  
水沢区 水沢高校  
0197-24-3151

同窓生の皆さんにおかれましてはご健勝で活躍のこととお慶び申し上げます。

同窓生の近況報告やご意見、学校のこと等は水高同窓会ホームページをご覧いただくと、より具体的な内容がわかりますので、皆さんにもご覧いただき関心を持っていただければ幸いです。ご意見等につきましては今後の同窓会運営の参考にしてまいります

と思っております。お世話頂いております。関東支部の方々には感謝申し上げます。昨年八月の本部総会も前年より多くの皆さんに参加していただきました。総会行事の講演会の講師を同窓生の皆さんが集まっていたいただき懇親会も大いに盛り上りました。



### 母校の発展を

同窓会長 長野 耕定

ちなみに講師としては共同通信勤務の及川仁氏(第32回卒)にお世話になりました。今年も各地支部総会に負けない人数の参加を目指し企画を考えてまいりたいと思っております。遠いところ駆けつけていただいた各支部役員の方々には本当にありがとうございます。

昨年末に岩手県立水沢高等学校応援団後援会が設立されました。このところ各運動部活動において着実に力を付けており、結果を出して頂いています。このような大会や校内行事において選手・生徒の士気を鼓舞する応援リーダーを支援しようとの趣旨での設立でした。出席された歴代応

援団リーダーの皆さん全員からお話を頂き、今後の支援を誓い合いました。同窓会といえども活動に弾みが付くところであり、設立にご尽力を頂きました千葉悟郎先生(初代会長に就任)はじめ佐藤(邦)、大沼各氏に御礼申し上げます。

硬式野球部ですが、秋季県大会で準優勝、福島での東北大会に県第二代表で望みましたが、二回戦の酒田南に惜敗したものの内容がすばらしいもので、応援していた期間が短く感じられました。私が球場駐車場まで一緒になった酒田南応援団の方などは負けたような雰囲気でした。岩手県推薦を得た選抜

出場の希望はかなわなかったものの、夏は期待できると思います。秋季県大会にも沢山の同窓生が応援に駆けつけていただきました。今年の夏に向け悲願をかなえるべく皆で応援をしてまいりたいと思います。

創立100周年事業で建てた室内練習場(昇龍館)の効果が早くも現れつつあるものと、改めてご協力をいただいた同窓生の皆さんに感謝を申し上げます。今年も母校水高生徒諸君といっしょに感動と喜びを共有していきたいものだと思います。

## 同窓会総会

今年度の総会は、八月十一日土曜日十時から水沢グランドホテルで開催されました。

平成二十三年度からの新しい役員のもと、創立百二年の歴史を刻む水沢高校の更なる発展のために、同窓会としても支援していくことを確認する総会になりました。総会では40名の方々、懇親会には30名のご参加をいただきました。

今年度は、総会の後に講演会を開催しました。本校卒業生の及川仁氏に「3・11後の世界と日本」という題で講演していただきました。



及川仁氏は、昭和五十五年(1940年)に本校を卒業後、早稲田大学進学し、平成六十年に共同通信社に入社。ベオグラード、モスクワ両支社を経て、バグダット支局長。現在は外信部デスクとして活躍しています。アメリカの同時多発テロ事件発生後のアフガニスタンからの一連の報道で2001年度ボーン・上田記念国際記者賞を受賞しました。

外信部記者として中東で経験したこと

をスライドを交えながらの講演で

した。中東情勢について貴重なお話を聞けた

と思います。また、及川氏は懇親会

にも参加いただき、五十五年卒の同窓生と話しに花を咲かせていました。

今年度は、五十五年卒前後の同窓生の出席が多く大変盛り上がりました。来年度も多くの同窓生のご出席をお待ちしております。



さらなる活力と魅力ある学校づくりを目差して



校長 高橋 和夫

今年度赴任しました高橋と申します。同窓生の皆様には、日頃から多大なご支援とご協力を頂き誠にありがとうございます。4月以来、同窓生の方々の母校に対する熱い思いに接し、大変ありがたく思っております。また、本校に勤務することの幸せを感じております。生徒達にとっても、このような恵まれた環境の中で学習や部活動に励むことは幸せなことだと思っています。

さて、今年度は創立102周年を迎え、飛龍二世の黎明期にあたり、さらに学校の活性化と魅力ある学校づくりを図るべく、生徒・教職員が一丸となって取り組んでいく所です。

生徒達は学習や部活動、委員会活動、奉仕活動に一生懸命取り組んでいます。その一端を紹介します。最初に運動部の主な実績ですが、女子サッカー部、ウエイトリフティング部の活躍は目覚ましいものがあります。女子サッカー部は高総体、高校選手権、新人大会全てで優勝を果たし、インターハイにも出場しました。ウエイトリフティング部の及川佳将君(2年)は東北1位になったほかに、インターハイで5位入賞及び団体で7位入賞を果たしたのは見事です。2年の吉田可南子さんも全国大会に出場しました。東北大会には野球部、サッカー部女子、ウエイトリフティング部、卓球部、水泳部、バス

ケット部、バドミントン部が出場し活躍しました。野球部は東北大会で甲子園の常連校と対戦し、惜しくも延長10回1対2で敗れたものの、県大会と東北大会での活躍が認められ、今春の選抜大会には一般枠と21世紀枠の両方で県の推薦となりました。残念ながら選抜出場の夢は果たせませんでした。だが、胆江地区の悲願を果たすべく、選手は惜しめない努力を続けています。

文化部の活躍も目覚ましく、第27回全国高等学校文芸コンクールで佐々木慎子さん(2年)は俳句部門で入賞を果たし、書道部の佐藤李咲さん(3年)は全国高等学校総合文化祭富山大会に出場、菅原優希さん(3年)は第17回全日本高校・大学生書道展で書道賞を受賞しました。また、岩手県高等学校総合文化祭では、自然科学部が最優秀賞、書道部4人が優秀賞を受賞しました。自然科学部と書道部の菱谷ほのかさん(1年)が平成25年度全国高等学校総合文化祭長崎大会出場が決まりました。音楽部は第64回全日本合唱コンクール県大会で金賞を獲得し、東北大会に出場しました。また、県高総体文芸祭で美術部の菅原杏樹さん(2年)は特賞に輝きました。その他にも、書道部、ESS、短詩同好会は全国レベルの大会やコンクールに出場し、入賞を果たしています。その他の活動として、家庭クラブが県の研究発表大会

で優秀賞、第58回青少年読書感想文コンクールにおいて、自由図書で高橋哲朗君(2年)、課題図書で小野寺悠さん(2年)がそれぞれ最優秀賞を獲得しました。まだまだ紹介しきれませんが、文武両道を目差してひたむきに努力する生徒達、大きな志でいろいろなことにチャレンジする生徒達、献身的に奉仕活動や生徒会活動に励む生徒達など、本当に素晴らしい生徒達だと感じています。今年度、本校は岩手県教育委員会から学校教育分野で教育表彰を受賞しました。平成15年度にスーパー・サイエンス・ハイスクール(SSHS)に指定されて以来、様々な先進的な実践を実施するとともに、県内の理数教育の先進的役割を担い、科学技術に夢を持ち、創造性豊かな人材の育成に取り組みだことが受賞理由になっています。この受賞は学校にとって大変名誉なことであり、これまでSSHS事業に係った全ての方々に感謝申し上げます。今年度、新たに3期5年の指定を受け、さらにSSHS事業の充実に向けていきたいと思っています。理科設置校の本校にとっては、このSSHS事業は学校の大きな柱の1つであり、このSSHS事業を通し科学技術系人材の育成を図るとともに、全ての生徒に科学的に物事を探究する態度、科学的な物の考え方や見方を養っていきたくと考えております。将来、社会に大いに貢献する有為な人材となる生徒達です。SSHS事業を通しても大きく成長することを願っています。

最後に、本校の役割、果たすべき使命とは何かを常に考えながら、さらなる水高の発展に努めていきたいと思っています。また、生徒達には充実感と満足感の充分に得られる質の高い教育を提供し、これからの活力ある学校、魅力ある学校づくりに職員一丸となって取り組んで行きます。同窓生の皆様には、今後とも温かいご支援とご協力によるしくお願いいたします。

盛岡支部総会

盛岡支部総会は7月13日「サンセール盛岡」で開催された。

始めに、同窓会会長である大内豊氏の自著「昭和の動乱を探る―太平洋戦争―」について、講和をいたしたきました。戦後、長い年月を経て忘れられることの多い、第二次世界大戦についてとても興味深い話でした。

その後、総会懇親会とすすめられました。今回は特に、にぎやかだったのは新しい同窓会会長の川嶋静夫氏、同窓会担当の大内国芳氏の4名の来賓の参加をいただいたことでした。

毎年、本部からは来賓の参加をいただいております。本日に有難うございます。ところで、わが盛岡支部は記録を見ると、平成2年頃に設立したらしく、20年以上やっていることになりました。当初から私小野功と千葉務君、及川俊一君と三人で事務局をやっていました。よく続いたものだと思っています。その間に支部長が2名代わっています。

最初は本部のほうから名簿をいただいていたのですが、無駄が多いため、過去に参加された方々だけに現在、案内することになっています。

どんな組織でもあると思うけど、悩みといえば、徐々にいつの間にか参加者の年齢が高くなっていく傾向があります。一つ贅沢な希望をいえば、高校野球が強くなってくることかな。

高校野球が強いと支部の集まりがよくなる傾向があるからね。



今年六月に全国公開された映画『道〜白磁の人〜』(高橋伴明監督)は、地味ながら一定の評価を受けた秀作となった。

日本統治下の朝鮮半島に植林技師として渡り、現地の文化に魅せられ、その文化や人々を愛し通した浅川巧の生涯を描いたこの映画。ご覧になった方もいらっしゃるだろう。

実はこの映画の製作・公開には水沢高校卒業生が大きく関わっている。浅川巧はその兄の浅川伯教とともに、当時の朝鮮半島に住み、兄の伯教は、日常的な暮らしに使われてきた陶磁器などの美を発掘し活用する「民芸運動」の中心となる柳宗悦に朝鮮陶磁を紹介した人として知られる。弟の巧もまた、植林業とともに、朝鮮陶磁さらには木工の研究紹介もし、民芸運動の源流とされる。

浅川兄弟の故郷は今の山梨県北杜市。この北杜市にある兄弟の生涯と功績を記した『浅川伯教・巧兄弟資料館』の学芸員―実質館長を務めているのが澤谷滋子さん。昭和四十七年の水高卒業生である(既に様々な場でお名前がでているので実名表記を許していただく)。その澤谷さんが、映画製作に全面

映画『道〜白磁の人〜』を応援して

結実した同窓生の熱いつながり

的に関わるとい話が彼女の同級生のKさんから伝わってきた。澤谷さんもKさんも僕の新聞部の二年先輩。多くの人がそうだろうが、高校一年の時の三年生は、一番頭が上がないあるいは怖い、緊張する先輩ではある。Kさんはまた、応援団の副団長として下級生からは畏怖の眼差しで見られもした。

ごとし。韓国の友好団体などとの折り合いをつけたら、とにかくそれぞれが自分の守備範囲を駆使して、また、何枚ものチケットを携えながら映画の成功にベクトルを向けていった。私事ながら、僕もある雑誌に連載しているコラムでちょっと映画を紹介させてもらった。

小佐田 佳司(昭和四十九年卒)

は二月から三月にかけてだった。

各々が仕事やプライベートで持っている人脈をとにかく駆使して、映画の宣伝やチケットの手配をしていこうという訳なのだが、その動きは素早かつ確だった。

著作業も生業としているKさんの人脈、知己は文字通り網の目の如くで、後日、澤谷さんをNHKの「ラジオ深夜便」に出演させる離れ業までやり遂げた。

Kさんの同級生たる二年先輩たちをコアにした動きはまさに打てば響く太鼓の

るいは仙台でも、連絡をもらった人達が誘いあって鑑賞に行ったり、熱い「口コミ」がどんどん広がっていく様子がメールやツイッターなどで伝わってきた。

決して派手な映画ではない。上映館も限られていたが、映画の評判は上々で、各種メディアにも取り上げられた。興行そのものが成功か否かは分からないが、心に迫る、琴線に触れるという点では、館内に聞こえるすすり泣きすべてを物語っている。

さて、今回の映画公開の応援の隅っこで動いた僕だが、つくづく感じたのは、同級生や先輩のためにこれほど動けるものなのかということである。

同級生や今はもう休部状態と聞く新聞部、それに応援団というつながりだけで、みんなで澤谷滋子さんを応援した。そこから輪も広がった。

そのつながりの土台は、「水沢高校」で過ごした時代に培われていた。あの濃密な三年間での様々な出会いのうちのひとつが、一人で折れそうになるかもしれない「仲間」を支え、応援した。

高校卒業からやがて四十年を迎えようという今、こうしたおつきあいができるとは思わなかった。

還暦間際のおやじの青臭い青春賛歌と取っていたとしても構わないが、こんな同窓生たちがいることを若い人達にも知ってもらいたい。現役の水高生たちには高校時代がもたらした一つの出来事として受け止めてもらい、今過ごしている時代を仲間や先輩、後輩たちと充実したものにしてほしい。「水高」で育んだ高校時代という季節が、やがて時を越えて実を結んだエピソードとして……。



胆江日日新聞 2012年(平成24年)6月24日(日曜日)第22926号 文化総合 4

# 志高く

～若者たちの選択30

公認会計士、税理士

## 氏家 亮さん(37)

水沢区佐倉河

### 数値は真実を映す鏡と信じて

企業の「ホームドクター」



氏家 亮(高45回・平成5卒)  
胆江日日新聞平成24年6月10日付

公認会計士、税理士として、企業の「ホームドクター」として活躍する氏家亮さん。数値は真実を映す鏡と信じて、企業の経営を支援している。

胆江日日新聞 2012年(平成24年)6月24日(日曜日)第22926号 文化総合 4

# 世界は今

岩手 県人レポート

## カナダ

### 移民の増加を歓迎 門戸を開く

菊池幸工さん(高25回・昭和48卒)  
岩手日報 平成24年6月24日付



カナダは移民の増加を歓迎し、門戸を開く。菊池幸工さんは、カナダで生活する中で感じる移民の増加について、そのメリットとデメリットを詳しく解説している。

胆江日日新聞 2012年(平成24年)6月10日(日曜日)第22913号 文化総合 4

# 世界は今

岩手 県人レポート

## フィリピン

### 日本語学ぶ人増加 教師会誕生

青沼国夫さん(高24回・昭和47卒)  
岩手日報 平成24年5月20日付



フィリピンで日本語を学ぶ人が増加し、教師会が誕生した。青沼国夫さんは、フィリピンでの日本語教育の現状と今後の展望について詳しく解説している。

胆江日日新聞 平成25年1月30日付

# 活字文化の充実を

## 作品集第35号発行

小野寺寛(高7回・昭和30卒)



活字文化の充実をテーマにした作品集第35号が発行された。小野寺寛さんは、この作品集の発行に大きく貢献している。

胆江日日新聞 平成24年12月2日付

# 岩手芸術祭

## 芸術祭賞に菊池咲さん

菊池咲(高56回・平成16卒)



岩手芸術祭の芸術祭賞に菊池咲さんが選ばれた。菊池さんは、その作品の素晴らしさについて詳しく解説している。

胆江日日新聞 平成25年1月11日付

# 郷土愛に復興支援重ねて

## 梅原祐也さん

梅原祐也(高62回・平成22卒)



郷土愛に復興支援を重ねて活動している梅原祐也さん。梅原さんは、被災地の復興支援に積極的に取り組んでいる。

胆江日日新聞 平成24年6月10日付

# 志高く

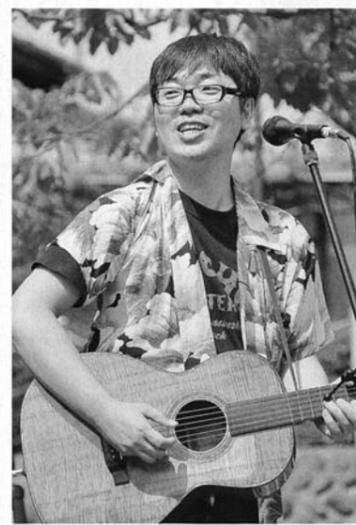
ミュージシャン

## キクチノブヒロさん(34)

東京都杉並区

### ボンと人の背中を押す役目を

菊地展弘(高48回・平成8卒)



ミュージシャンとして活躍する菊地展弘さん。菊地さんは、音楽を通じて人々の背中を押す役目を果たしている。

胆江日日新聞 平成25年1月11日付

# 郷土愛に復興支援重ねて

## 梅原祐也さん

梅原祐也(高62回・平成22卒)



郷土愛に復興支援を重ねて活動している梅原祐也さん。梅原さんは、被災地の復興支援に積極的に取り組んでいる。



◆**家庭クラブ**  
第62回岩手県高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会  
・学校家庭クラブの部 優秀賞  
◆**読書感想文コンクール**  
第58回青少年読書感想文岩手県コンクール  
・自由図書 最優秀賞 2年 高橋哲朗  
・課題図書 最優秀賞 2年 小野寺悠

◆**《その他》**  
全国高等学校英語スピーチ甲子園2012  
・優勝 2年 菅原春香

◆**EUSS**  
第35回岩手県高総文祭自然科学部門  
・最優秀賞(次年度全国高総文祭長崎大会岩手県代表)

◆**科学部**  
第64回全日本合唱コンクール岩手県大会  
・金賞(東北大会出場)  
第22回岩手県合唱小アンサンブルコンテスト  
・金賞

◆**音楽部**  
第15回俳句甲子園岩手県大会  
・優勝  
岩手県高校生文芸コンクール  
・優秀賞 2年 佐々木楨子

◆**美術部**  
第35回岩手県高総文祭美術工芸部門  
・特賞 2年 菅原杏樹

◆**短詩同好会**  
第40回岩手県小中学校書写書道作品コンクール  
・学校賞 3年連続  
・岩手書道協会会長賞 1年 及川真知

◆**谷ほか、1年 及川真知**  
【第1種 漢字仮名交じり部門】  
優秀賞 3年 鈴木彩有里、1年 及川真知

平成24年度激励金交付報告(2月18日現在)

ー 運動部 ー

バスケットボール部(女子)	東北選手権大会(団体)・県選抜選手東北大会(個人) 出場
サッカー部(女子)	東北選手権大会(団体)・選手権東北大会(団体)・インターハイ(団体) 出場
卓球	東北選手権大会(団体) 出場
ウエイトリフティング部	全国高総体(個人)・国民体育大会(個人)・全国女子選手権大会(個人)・全国選抜大会(個人) 出場
水泳部	東北大会(個人・団体)・東北新人大会(個人・団体) 出場
バドミントン部	東北選手権大会(団体・個人) 出場

ー 運動部 ー

陸上部	東北新人大会(個人) 出場
野球部	秋季東北大会(団体) 出場

ー 文化部 ー

短詩同好会	俳句甲子園全国大会(団体) 出場
音楽部	全日本合唱コンクール東北大会(団体) 出場
文芸部	北海道・東北文芸大会(個人) 参加
書道部	全国高総文祭(個人) 参加

今年度、東北大会・全国大会に出場した部に、同窓会会計より総額668,000円の激励金を支出しました。交付対象の部は上記の通りです。今後も、部活動面において全国を経験する在校生が増えることを期待しています。

平成24年度部活動の記録

《運動部》

◆**陸上競技部**  
岩手県高等学校総合体育大会  
男子 800m 第5位(東北大会出場)  
男子 110mハードル 第8位  
男子 110mハードル 第5位(東北大会出場)  
男子 三段跳 第7位

バスケットボール部

岩手県高等学校総合体育大会  
男子 ベスト8  
女子 第3位(東北大会出場)  
東北総合体育大会  
少年女子選抜(藤原沙幸・遠藤恵子) 出場  
岩手県男女総合バスケットボール選手権大会  
男子 ベスト8  
女子 第3位

卓球部

岩手県高等学校総合体育大会  
男子団体 第2位(東北大会出場)  
男子ダブルス 第3位(東北大会出場)  
男子シングルス 第7位・第9位(東北大会出場)  
女子団体 ベスト8  
女子ダブルス 第3位  
岩手県高等学校新人大会  
男子団体 第3位  
男子ダブルス 第3位  
女子団体 ベスト8

ハンドボール部

岩手県高等学校総合体育大会  
男子 ベスト8

ソフトテニス部

岩手県高等学校総合体育大会  
男子団体 ベスト8

バドミントン部

岩手県高等学校総合体育大会  
男子団体 第3位(東北大会出場)  
女子団体 ベスト8  
女子シングルス ベスト8(東北大会出場)  
女子ダブルス ベスト8

サッカー部

岩手県高等学校総合体育大会  
女子 優勝(3年連続19回目・東北大会出場)  
東北高等学校選手権大会  
女子 第2位(インターハイ出場)  
東北総合体育大会  
女子選抜(高田紗李・木村美沙) 出場  
全日本高等学校女子サッカー選手権大会  
岩手大会 優勝(東北大会出場)  
岩手県女子サッカー選手権大会 第3位  
岩手県高等学校新人大会 優勝(2年ぶり16回目)  
女子

ラグビー部

岩手県高等学校総合体育大会  
Aブロック残留 (ベスト8)

柔道部

岩手県高等学校総合体育大会  
男子 100kg超級 ベスト8  
全国高等学校選手権岩手県大会  
男子団体 ベスト8

弓道部

全国高等学校弓道選抜大会岩手県予選会  
男子団体 ベスト8

硬式野球部

春季高校野球岩手県大会 ベスト8  
全国高等学校野球選手権岩手大会 ベスト8  
秋季高校野球岩手県大会 準優勝(東北大会出場)  
第85回記念選抜高校野球21世紀杯 岩手県推薦校

水泳部

岩手県高等学校総合体育大会  
男子 100mバタフライ 優勝(県高校新記録・東北大会出場)  
男子 100m自由形 第2位(東北大会出場)  
男子 100m背泳ぎ 第2位(東北大会出場)  
男子 400mメドレーリレー 第6位(東北大会出場)  
男子 400mリレー 第8位(東北大会出場)  
女子 100mバタフライ 優勝(東北大会出場)  
女子 200mバタフライ 優勝(東北大会出場)  
女子 100m背泳ぎ 第3位(東北大会出場)  
女子 200m背泳ぎ 第3位(東北大会出場)  
女子 400mメドレーリレー 第7位(東北大会出場)  
東北高等学校水泳選手権大会  
男子 100mバタフライ 第4位  
岩手県高等学校新人大会  
男子 100mバタフライ 第2位  
男子 200mバタフライ 第2位  
女子 100mバタフライ 第1位  
女子 200mバタフライ 第1位  
女子 100m背泳ぎ 第2位  
女子 200m背泳ぎ 第2位  
東北高等学校新人水泳大会  
女子 100mバタフライ 第3位  
女子 200mバタフライ 第5位  
男子 100mバタフライ 第6位

ウエイトリフティング部

岩手県高等学校総合体育大会  
男子 56kg級 優勝  
男子 (インターハイ・東北大会出場) 優勝  
男子 85kg級 第2位(東北大会出場)  
男子 53kg級 第3位  
男子 94kg級 第3位  
女子 53kg級 優勝  
女子 94kg級 優勝  
女子 63kg級 優勝  
女子 58kg級 優勝  
東北高等学校選手権大会  
男子 56kg級 優勝  
男子 85kg級 第7位  
男子 56kg級 第7位  
国民体育大会  
男子 56kg級 スナッチ 第7位  
岩手県高等学校新人大会  
学校対抗 第2位  
男子 53kg級 優勝(大会新記録)  
男子 56kg級 優勝(大会新記録)  
男子 69kg級 優勝  
男子 94kg級 第2位  
女子 69kg級 第3位  
女子 69kg級 第2位  
女子 69kg級 第2位

《文化部》

◆**書道部**  
第36回全国高等学校総合文化祭富山大会  
書道部門参加 3年 佐藤李咲  
第17回全日本高校・大学生書道展  
書道展賞 3年 菅原優希  
平成24年度岩手県高等学校文化連盟  
連盟賞 3年 菅原優希  
第35回岩手県高等学校総合文化祭書道部門  
・次年度全国高総文祭岩手県代表  
・年度全国高総文祭岩手県代表  
【第1種 漢字・かな部門】  
優秀賞 3年 佐藤李咲、1年 菱

平成二十四年度 職員異動

◆ <b>転入</b>	高橋 和夫(校長) 大槌 中崎 和博(国語) 千厩 菊池 行(体育) スポーツ振興事業団 谷木 梯典(体育) 花巻農業 柳 望(地学) 大東 佐藤 俊一(物理) 一関一 葛西 雄一(英語) 盛岡一 林 苗子(家庭) 一関工業 武田 宏(英語) 花泉 切田 壮(英語) 大船渡 加藤 直樹(化学) 盛岡一 及川 伸也(数学) 盛岡三 安藤智彩保(日本史) 花巻北 佐々木淳一(世界史) 宮古 菊池 眞市(地学) 北上翔南 高橋 修(主任) 金石祥雲支援 佐々木菜摘(主事) 県北教育事務所	池田 明宏(物理) 盛岡青松支援 小原 信(体育) 大船渡東 畠澤 秀(地学) 平館 中村 智和(物理) 一関一 秋田美紀男(英語) 沼宮内 多田江利子(家庭) 千厩 大光 純(英語) 大東 黒澤 将昭(英語) 八戸西 小野寺一浩(化学) 盛岡一 西館智香子(数学) 伊保内 笠原 雅史(日本史) 県立博物館 松田 隆(世界史) 杜陵 伊藤 久之(主査) 岩泉 赤川 希(主事) 県南教育事務所
◆ <b>転出</b>	鹿野 聡(国語) 大東 岡市 武(体育) 宮古水産	◆ <b>退職</b> 佐藤 成人(校長) 伊東 格(世界史) 伊藤 正幸(化学) 鈴木 一彦(数学)

但し、定期人事異動のみ。

**水沢高校校章 作成者逝去**

一関第二高等学校第十七代校長 岩淵慶次郎様が、平成二十四年十月十八日にご逝去されました。ご冥福をお祈り致します。

# 平成25年度 岩手県立水沢高等学校同窓会総会

日時 平成25年 8 月10日(土)  
場所 水沢グランドホテル  
水沢区東町40  
TEL 25-8311



## 同窓会・水高育英会へのご寄付ありがとうございました

今年度、同窓会へ7名の方から、総額12万5千円のご寄付を任意にもかかわらず頂戴致しました。同窓会一般会計に入金され、今後の同窓会会報の発行や部活振興等に使用させていただいております。

水高育英会へのご寄付は15名の方より総額50万9千円のご寄付を頂戴致しました。これまでも多くの進学する卒業生を支えてきております。

今後ともご協力をお願いします。

### 同窓会寄付者(平成25年 2 月20日現在・受付順・敬称略)

佐藤 教行 高橋 正樹  
菅原 勝彦 菊地 正/典子  
佐藤 義喜 千葉 治  
辻山 艶子

### 水高育英会寄付者(平成25年 2 月20日現在・受付順・敬称略)

及川 修 芳沢 莖子 佐々木 勲 阿部 善信  
木村 恵也 渡辺 主喜 伊藤 康道 春秋会(第7回卒業生・首都圏在住)  
雨笠 祥子 佐藤 義喜 菊地 利恵 水沢高校第7回卒業生喜寿を祝っての同級会  
朴澤 弘康 森岡 陽一 村上 倍達

### 同窓生の著書(図書館寄贈分)

平成25年 2 月末現在

著者	書名	卒業年
大内 豊	昭和の動乱を探る 太平洋戦争	第9回・昭和32年卒
小野寺 金雄	新編言魂に見ゆ 現代語によって古語の世界をいざなう手引書	第16回・昭和39年卒
村上 栄一	仙腸関節の痛み—診断のつかない腰痛	第25回・昭和48年卒

### 編集後記

◆事務室からのお知らせ◆  
卒業生等が卒業証明書等の交付を受ける場合、手数料が必要ですが、一通あたり、400円分の岩手県収入証紙を添付して申請して下さい。  
詳しくは水沢高校ホームページをご覧ください。事務室までお問い合わせ下さい。

震災後、生徒会を中心に様々な交流、支援活動を通して、故郷にわたの復興に取り組んでいます。  
SSHの指定も5年間の延長が決まり、生徒は部活動や勉学においても意欲的な日々を過ごしております。  
同窓生の皆様からの一層のご支援と御声援をいただければ幸いです。

